

急性の嗅覚・味覚障害についてのお願い
～新型コロナウイルス感染症の初期症状の可能性～

新型コロナウイルスの感染で、他の症状がなくても、先行して急ににおいの異常（嗅覚障害）やあじの異常（味覚障害）を自覚することがあります。このことで各医療機関に多くの問い合わせがきていますが、現時点では多くの施設で、基礎疾患がない、若年の軽症の方には、PCR検査を行うことはできません。

においやあじが分からなくなる病気のほとんどが、新型コロナウイルス感染症とは無関係です。しかし、元々鼻の病気がないのに、「急に」においやあじがわからなくなった場合は、新型コロナウイルスに感染している可能性もあります。念のため、周囲への感染を拡大させないように、以下のようにこころがけてください。

- ① 「におい」や「あじ」の異常を感じてから8日間かつ症状が消えてから3日間が経過するまでは、不要不急の外出を控えてください。マスクを着けて対話をして下さい。手洗いもこまめにしてください。医療機関への受診は控えて、毎日体温測定をしてください。
- ② 以下の場合、速やかにお住まいの区市町村の帰国者・接触者相談センターにご相談ください。厚生労働省のホームページからも確認することができます。
 - 1) 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - 2) 高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある場合や人工透析を受けている場合、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている場合
- ③ 嗅覚障害・味覚障害に対する治療（対症療法）は、急ぎません。まずは何も薬を使わないで様子を見ましょう。自然に治ることが多いです。発熱や咳などの他の症状がなく、嗅覚障害や味覚障害の症状が2週間以上経過しても変わらない場合は、耳鼻咽喉科外来までお問い合わせください。

あなたとあなたの周りのみなさんの身を守るために、ご協力をお願いいたします。